

総務教育常任委員会資料

(平成21年9月16日)

【 件 名 】

- 1 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について (教育環境課) …… 1
- 2 平成21年度全国学力・学習状況調査の結果 鳥取県の概要について
(小中学校課) … 2
- 3 平成20年度鳥取県における問題行動(暴力行為・いじめ)等の状況について
(小中学校課・高等学校課) … 6
- 4 ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の予備枠にもとづく
事業の追加実施について (家庭・地域教育課、図書館) …… 9
- 5 奨学金徴収業務の債権回収会社(サービサー)への委託について
(人権教育課) …10
- 6 企画展「挑戦! 頭脳パズルボックス」及び美術企画展示「山を描いた画家
伊谷賢蔵」の開催について (博物館) …… 11
- 7 美術品の購入について (博物館) …… 12
- 8 平成21年度全国高等学校総合体育大会について (体育保健課) …… 14

教 育 委 員 会

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成21年9月16日
教 育 環 境 課

工事名	県立八頭高等学校南体育館耐震改修工事（建築・機械設備）
工 事 場 所	八頭郡八頭町久能寺
契約の相手方	こおげ建設株式会社
契 約 金 額	174,720,000円
工 期	平成21年 9月 8日～ 平成22年 3月15日
契 約 年 月 日	平成21年 9月 8日
摘 要	

平成21年度全国学力・学習状況調査の結果 鳥取県の概要について

平成21年9月16日
小 中 学 校 課

1 実施状況

※4月21日に実施した公立学校の調査結果を集計
(4月22日以降に実施した学校の調査結果は含んでいない)

【小学校6年生】

教科等	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	質問紙
人 数	5,086	5,083	5,086	5,083	5,082

【中学校3年生】

教科等	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	質問紙
人 数	4,795	4,795	4,798	4,796	4,811

2 教科の概要

(1) 小学校6年生

調査結果(平均正答率)は、国語・算数ともに全国平均を上回っている。

[単位：%]

	国語A			国語B			算数A			算数B		
	本県(公立)	全国(公立)	差	本県(公立)	全国(公立)	差	本県(公立)	全国(公立)	差	本県(公立)	全国(公立)	差
H19	84.4	81.7	2.7	64.0	62.0	2.0	84.2	82.1	2.1	65.0	63.6	1.4
H20	68.0	65.4	2.6	51.7	50.5	1.2	73.3	72.2	1.1	52.2	51.6	0.6
H21	70.9	69.9	1.0	52.5	50.5	2.0	81.5	78.7	2.8	55.9	54.8	1.1

① 国 語

○国語 A (主として知識) … 18 問

- ・平均正答率は、全国に比べて+1.0ポイント(昨年度は+2.6ポイント)。
- ・どの領域、評価の観点、問題形式についても平均正答率は全国平均を上回っている。
- ・平均正答率が全国平均より高い問題は11問。
「はがきの表書きに必要な事柄を選択する」問題(全国比+6.2ポイント)。
- ・平均正答率が全国平均より低い問題は7問。
「ローマ字で書く(たべもの)」問題(全国比-4.0ポイント)。

○国語 B (主として活用) … 10 問

- ・平均正答率は、全国に比べて+2.0ポイント(昨年度は+1.2ポイント)。
- ・どの領域、評価の観点、問題形式についても平均正答率は全国平均を上回っている。
- ・平均正答率が全国平均より高い問題は9問。
「説明文の冒頭部分を読んで、書き方の工夫として適切な内容を選択する」問題(+3.3ポイント)

[国語関係の質問紙]

■全国平均より高いもの

- ・「読書が好きだ」(+3.1ポイント)
- ・「国語の授業の内容はよく分かる」(+2.7ポイント)

■全国平均より低いもの

- ・「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」(-2.1ポイント)

② 算 数

○算数A（主として知識）…18問

- ・平均正答率は、全国に比べて+2.8ポイント（昨年度は+1.1ポイント）。
- ・「数量関係」の領域の平均正答率が全国平均に比べて低い。それ以外の領域及びどの評価の観点、問題形式についても平均正答率は全国平均を上回っている。
- ・平均正答率が全国平均より高い問題は14問。
「整数の中から偶数を選ぶ」問題（全国比+13.0ポイント）。
- ・平均正答率が全国平均より低い問題は4問。
「表にあてはまる資料の個数を答える」問題（全国比-4.7ポイント）。

○算数B（主として活用）…14問

- ・平均正答率は、全国に比べて+1.1ポイント（昨年度は+0.6ポイント）。
- ・「選択式」の問題形式が全国平均に比べて低い。それ以外の問題形式及びどの領域、評価の観点についても平均正答率は全国平均を上回っている。
- ・平均正答率が全国平均より低い問題は3問。
「全体の中に占める特定のものの重さの割合の大小関係をとらえ、判断のわけを書く」問題（全国比-2.0ポイント）。

〔算数関係の質問紙〕

■全国平均より高いもの

- ・「言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した」（+3.4ポイント）
- ・「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」（+2.3ポイント）

■全国平均より低いもの

- ・「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」（-2.6ポイント）

(2) 中学校3年生

調査結果（平均正答率）は、国語・数学ともに全国平均を上回っている。

[単位：%]

	国語A			国語B			数学A			数学B		
	本県(公立)	全国(公立)	差	本県(公立)	全国(公立)	差	本県(公立)	全国(公立)	差	本県(公立)	全国(公立)	差
H19	81.9	81.6	0.3	72.0	72.0	0.0	73.3	71.9	1.4	61.2	60.6	0.6
H20	75.5	73.6	1.9	61.3	60.8	0.5	64.4	63.1	1.3	50.9	49.2	1.7
H21	79.3	77.0	2.3	76.4	74.5	1.9	64.0	62.7	1.3	58.4	56.9	1.5

① 国 語

○国語A（主として知識）…33問

- ・平均正答率は、全国に比べて+2.3ポイント（昨年度は+1.9ポイント）。
- ・どの領域、評価の観点、問題形式についても平均正答率は全国平均を上回っている。
- ・平均正答率が全国平均より高い問題は29問。
「主語に合わせて述語の部分の正しく書き直す」問題（全国比+7.5ポイント）。
- ・平均正答率が全国平均より低い問題は3問。
「短歌について、言葉のつながりや意味の上から切れめを付けたものとして適切なものを選択する」問題（全国比-3.1ポイント）。

○国語B（主として活用）…11問

- ・平均正答率は、全国に比べて+1.9ポイント。（昨年度は+0.5ポイント）
- ・どの領域、評価の観点、問題形式についても平均正答率は全国平均を上回って

いる。

- ・平均正答率が全国平均よりも高い問題は9問。

「子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の郷土資料コーナーの見出しを書く」問題（全国比+7.1ポイント）。

〔国語関係の質問紙〕

■全国平均より高いもの

- ・「読書が好きだ」（+5.8ポイント）
- ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」（+2.7ポイント）

■全国平均より低いもの

- ・「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいる」（-1.4ポイント）

② 数 学

○数学A（主として知識）…33問

- ・平均正答率は、全国に比べて+1.3ポイント（昨年度も+1.3ポイント）。
- ・どの領域、評価の観点、問題形式についても平均正答率は全国平均を上回っている。
- ・平均正答率が全国平均より高い問題は29問。
「大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が7になる確率を求める」問題（全国比+6.9ポイント）。
- ・平均正答率が全国平均より低い問題は4問。
「 $2x + y = 6$ の解を座標とする点の集合がどのようになるかを選ぶ」問題（全国比-1.7ポイント）。

○数学B（主として活用）…15問

- ・平均正答率は、全国に比べて+1.5ポイント（昨年度は+1.7ポイント）。
- ・どの領域、評価の観点、問題形式についても平均正答率は全国平均を上回っている。
- ・平均正答率が全国平均より高い問題は13問。
「蛍光灯と白熱電球の総費用について、2つの総費用が等しくなるおよその時間を求める方法を説明する」問題（全国比+4.6ポイント）。

〔数学関係の質問紙〕

■全国平均より高いもの

- ・「数学ができるようになりたいと思う」（+0.6ポイント）

■全国平均より低いもの

- ・「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」（-4.9ポイント）
- ・「数学の授業の内容はよく分かる」（-3.9ポイント）

3 質問紙調査の概要

※〔 〕内の数字は質問番号，（昨年度比±ポイント）は昨年度の県の平均値との差

○〔16・17〕

「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に「2時間以上」という回答は、全国比で小学校-7.3ポイント（昨年度比+0.3ポイント）中学校-7.2ポイント（昨年度比+0.4ポイント）。

「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」に「3時間以上」という回答は、全国比で小学校-5.3ポイント（昨年度比

+0.7ポイント) 中学校-2.3ポイント(昨年度比+1.6ポイント)。

○〔28・29〕

「家で学校の授業の予習・復習をしていますか」に肯定的な回答は、全国比で小学校の予習が-2.9ポイント、復習が+2.3ポイント(昨年度比+2.2ポイント、+6.1ポイント) 中学校の予習が-9.4ポイント、復習が-7.4ポイント(昨年度比-1.5ポイント、+1.6ポイント)。

○〔26〕

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に肯定的な回答は、全国比で小学校+0.4ポイント(昨年度比+7.4ポイント)。中学校-1.0ポイント(昨年度比+2.5ポイント)。

○〔21・22〕

「家の人と普段(月~金曜日)朝食を一緒に食べていますか」に肯定的な回答は、全国比で小学校+4.9ポイント(昨年度比+2.6ポイント) 中学校+5.1ポイント(昨年度比+0.4ポイント)。「家の人と普段(月~金曜日)夕食を一緒に食べていますか」に肯定的な回答は、全国比で小学校+3.7ポイント(昨年度比+0.3ポイント) 中学校+5.2ポイント(昨年度比+0.3ポイント)。

○〔19・20〕

「家や図書館で、普段(月~金曜日)1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」に「10分以上」という回答は、全国比で小学校+6.2ポイント(昨年度比+2.0ポイント) 中学校+8.4ポイント(昨年度比-0.1ポイント)。

「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか」に「週に1回以上」という回答は、全国比で小学校+17.4ポイント、中学校+11.1ポイント。

○〔9〕

「普段(月~金曜日)何時ごろに起きますか」に「朝7時まで起きる」という回答は、全国比で小学校+10.7ポイント(昨年度比+3.8ポイント)。中学校-7.8ポイント(昨年度比+2.0ポイント)。

○〔12〕

「普段(月~金曜日)1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか」に「2時間以上」という回答は、全国比で小学校+0.4ポイント(昨年度比-3.4ポイント) 中学校+4.0ポイント(昨年度比-2.1ポイント)。

○〔15・25〕

「携帯電話で通話やメールをしていますか」に肯定的な回答は、全国比で小学校-12.0ポイント(昨年度比-2.0ポイント) 中学校-24.7ポイント(昨年度比-2.2ポイント)。

「携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」に肯定的な回答は、全国比で小学校-10.4ポイント、中学校-18.3ポイント。

○〔36〕

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に肯定的な回答は、全国比で小学校+13.7ポイント(昨年度比-1.3ポイント) 中学校+5.9ポイント(昨年度比+0.2ポイント)。

4 今後の予定

- 「地区別(東・中・西)」「市部・郡部別」「学級規模別」などの結果を本年10月に公表する予定。(市町村・学校に係わる調査結果は公表しない)

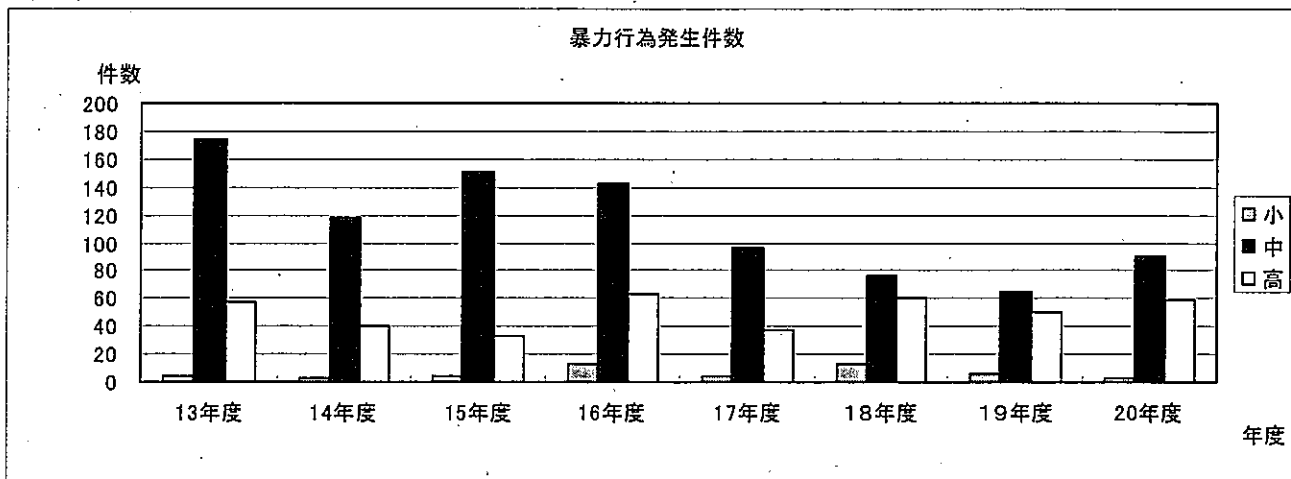
平成21年9月16日

小 中 学 校 課
高 等 学 校 課

1 集計結果

別紙のとおり(全国の数値については10月以降発表の予定)

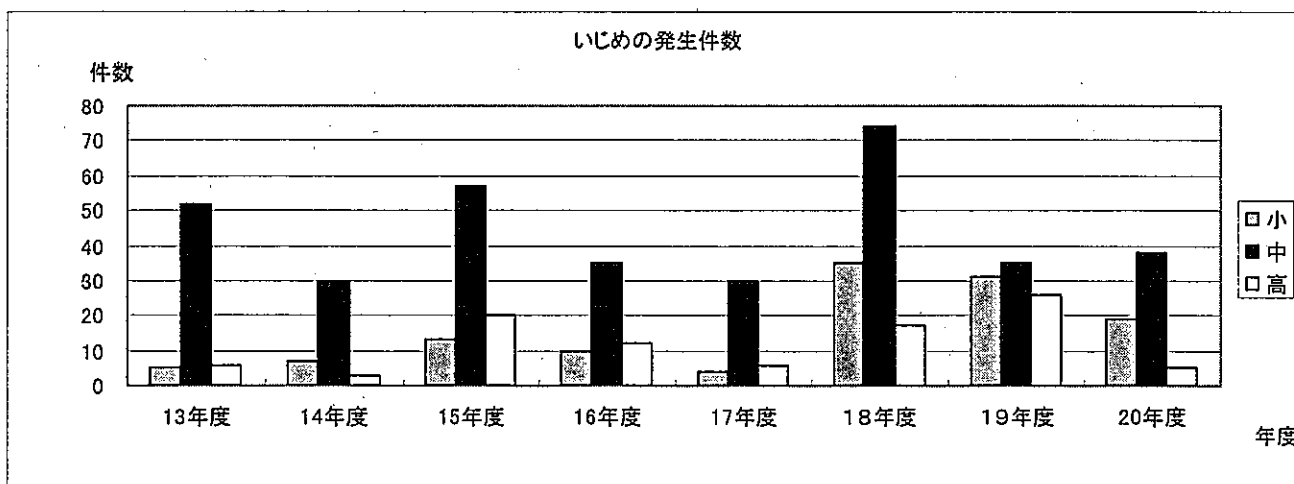
(1) 暴力行為



○暴力行為の発生件数は、小学校で減少し、中学校と高等学校で増加

- ・小学校の暴力行為は、「生徒間暴力」で増加、「対教師暴力」は前年度と同じく0件、「対人暴力」「器物破損」で減少
- ・中学校の暴力行為は、「対人暴力」は前年度と変わらず、「対教師暴力」「生徒間暴力」「器物破損」で増加
- ・高等学校の暴力行為は、「対教師暴力」「対人暴力」が減少、「生徒間暴力」「器物破損」で増加

(2) いじめ



○いじめの認知件数は、小学校と高等学校で減少し、中学校で増加

- ・小学校におけるいじめの態様は、「冷やかし・からかい」が最も多いが、昨年と比べて減少
- ・中学校におけるいじめの態様は、「冷やかし・からかい」が最も多く、昨年と比べて微増
- ・高等学校におけるいじめの態様は、「パソコンや携帯電話で誹謗中傷」が多いが、昨年と比べて減少

2 問題行動の防止等にむけた取組等について

(1) 学校内での指導等

○発達障害への理解と、特別支援教育の視点を持った対応

- ・鳥取県自閉症・発達障害支援センター「エール」の自閉症・発達障害支援員やLD等専門員などの指導による研修をとおした発達障害に関する理解、および特別な支援を要する生徒への関わり方についての共通理解の促進

○教育相談等の充実による児童生徒の「心」とその課題への対応

- ・問題行動等への対応の在り方について、小中連携をとおした全職員の共通理解と当該児童生徒に応じた指導・支援体制の構築
- ・スクールカウンセラー、教育相談担当教員等による支援などを積極的に活用した教育相談活動の充実

○豊かな人間関係、社会性の育成

- ・学級活動や児童会・生徒会活動等を通じた仲間づくりや集団活動の推進
- ・「非行防止教室」の開催や道徳の時間を中心とした指導の充実による規範意識の醸成
- ・情報モラルの指導をとおしたケータイ・インターネットによるいじめの抑止

○生徒指導体制の再構築

- ・対応に関する基準の明確化と周知をとおした、指導方針に基づく小中連携を中心にしたねばり強い指導の実施

(2) 家庭や地域、関係機関との連携

○学校・家庭・地域との連携推進

- ・社会のルールとマナーを守るための「心とからだいきいきキャンペーン」「高校生マナーアップさわやか運動」の実施

○関係団体との連携の強化

- ・青少年育成協議会等の関係団体や地域と連携した街頭指導・夜間パトロール等による非行防止活動の展開
- ・長期化する問題や困難な事例に対する、少年サポートセンター、児童相談所等の関係機関との連携の推進
- ・小・中・高等学校間における、各学校の取組に対する意見交換会や個人情報に配慮した上での連携

問題行動(暴力行為・いじめ)等の状況に関する集計結果

小中学校課
高等学校課

1 暴力行為

(1) 鳥取県の暴力行為の発生件数の推移

※H18年度より割合は国立、私立も含む(H20は公立のみ)

(件)

暴力行為		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	前年比増減
鳥取県	小	4	3	4	13	4	13	6	3	-3
	中	174	118	151	142	97	76	65	90	25
	高	58	40	33	63	38	61	50	59	9
	計	236	161	188	218	139	150	121	152	31
	発生件数/千人	3.1	2.2	2.6	3.1	2.0	2.2	1.9	2.3	0.4
全国 (公立のみ)	小	1,630	1,393	1,777	2,100	2,176	3,755	5,095	未発表	
	中	29,388	26,295	27,414	25,984	25,796	29,476	35,649		
	高	7,213	6,077	6,201	5,938	6,046	6,715	7,290		
	計	38,231	33,765	35,392	34,022	34,018	39,946	48,034		
	発生件数/千人	2.8	2.5	2.7	2.6	2.6	3.1	3.7		

(2) 暴力行為の区分

(件)

区分		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	前年比増減
対教師暴力	小	2	0	0	4	0	3	0	0	0
	中	32	21	20	29	23	15	5	13	8
	高	6	2	2	8	5	6	5	4	-1
	計	40	23	22	41	28	24	10	17	7
生徒間暴力	小	2	2	1	5	3	2	1	3	2
	中	73	53	56	77	55	45	37	41	4
	高	23	28	17	21	22	41	28	33	5
	計	98	83	74	103	80	88	66	77	11
対人暴力	小	0	0	0	0	1	2	1	0	-1
	中	13	4	8	7	4	8	4	4	0
	高	2	1	3	6	0	1	1	0	-1
	計	15	5	11	13	5	11	6	4	-2
器物損壊	小	0	1	3	4	0	6	4	0	-4
	中	56	40	67	29	15	13	19	32	13
	高	27	9	11	28	11	13	16	22	6
	計	83	50	81	61	26	32	39	54	15

(注) 対教師暴力(教師の胸ぐらをつかむ、ケガをさせるなどの行為)

生徒間暴力(生徒同士がけんかし一方がケガを負う、一方的に暴行を加えるなどの行為)

対人暴力(通りかかった他校の生徒や通行人等面識のない相手に暴行を加えたなどの行為)

器物損壊(修繕を要する落書き、施設の破損などの行為)

2 いじめ

(1) 鳥取県のいじめの認知件数の推移

※H18年度より割合は国立、私立も含む(H20は公立のみ)

(件)

いじめ		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	前年比増減
鳥取県	小	5	7	13	10	4	35	31	19	-12
	中	52	30	57	35	30	74	35	38	3
	高	6	3	20	12	6	17	26	5	-21
	特	0	0	0	0	0	0	3	2	-1
	計	63	40	90	57	40	126	95	64	-31
発生件数/千人	0.8	0.5	1.3	0.8	0.6	1.8	1.8	1.0	-0.8	
全国	小	6,206	5,659	6,051	5,551	5,087	60,380	48,526	未発表	
	中	16,635	14,562	15,159	13,915	12,794	49,443	42,122		
	高	2,119	1,906	2,070	2,121	2,191	9,166	6,418		
	特	77	78	71	84	71	371	334		
	計	25,037	22,205	23,351	21,671	20,143	119,360	97,400		
発生件数/千人	1.8	1.6	1.7	1.6	1.5	8.7	7.1			

(注) H17年度までは発生件数、H18以降は認知件数

(2) いじめの態様

(件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句等	15	18	1	1	35
仲間はずれ、集団による無視	9	8	1	0	18
軽く叩かれたり、蹴られたりする	6	7	1	0	14
ひどく叩かれたり、蹴られたりする	5	1	0	0	6
金品をたかられる	1	1	0	0	2
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	0	5	1	0	6
いやなこと恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする	1	5	0	0	6
パソコンや携帯電話で誹謗中傷やいやなことをされる	0	4	2	0	6
その他	2	1	1	1	5
計	39	50	7	2	98

(注) 複数回答可

(3) いじめの解消状況

(件)

	いじめが解消しているもの	一定の解消が図られたが、継続支援中	解消に向けて取組中	他校への転学、退学等	計
小	14	5	0	0	19
中	28	8	1	1	38
高	5	0	0	0	5
特	0	2	0	0	2
計	47	15	1	1	64

ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の予備枠にもとづく
事業の追加実施について

平成21年9月16日
家庭・地域教育課
図書館

ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の県事業予備枠（商工労働部所管）を活用して追加実施することとなった事業（教育委員会分）について、以下のとおり報告します。

【今回報告事業】 前議会以降9月4日までに追加決定した事業

- ふるさと雇用再生特別交付金事業
鳥取県ふるさと雇用再生特別基金（財源：国10/10）を活用した事業により、継続的雇用機会の創出を図るもの。現計予算額（県実施分）9億円。
- 緊急雇用創出事業
鳥取県緊急雇用創出事業臨時特例基金（財源：国10/10）を活用した事業により、一時的な雇用機会の創出を図るもの。現計予算額（県実施分）5.86億円。

【事業の内訳】

(1) ふるさと雇用再生特別交付金事業

所属名	事業名	雇用創出人数		H21予算額 (千円)	事業内容
		21~23	21		
家庭・地域教育課	プロスポーツ選手との連携による子ども体験活動推進事業	3人	1人	2,672	プロ選手が子どもたちとともに遊んだりすることを通して、多くの仲間と過ごすことの楽しさや大切さを経験させるとともに、ルールやマナーを身につけるなど健全育成を図る業務をSC鳥取に委託する。
家庭・地域教育課	ケータイ・インターネットパトロール相談員配置事業	3人	1人	1,790	ケータイ・インターネットにおいて、出会い系サイトなどの有害情報、いじめやいやがらせなどの書き込みなどを継続的に監視する業務等をNPO法人こども未来ネットワークに委託する。
	2事業	6人	2人	4,462	

(2) 緊急雇用創出事業

所属名	事業名	雇用創出人数		H21予算額 (千円)	事業内容
		21~23	21		
図書館	暮らしや地域活性化に役立つ図書館サービス普及強化事業	6人	2人	2,671	「くらしに役立つ図書館推進事業」を広く県民に利用していただくため、非常勤職員を配置し、県内の地域や事業所、各種イベント等に出かけて普及啓発活動を行う。
船上山少年自然の家	専門指導補助員配置事業	3人	1人	1,030	船上山少年自然の家及び大山青年の家において、受入団体の様々な活動を支援するため、事務的作業及び活動補助を担当する臨時的任用職員を配置する。
大山青年の家	専門指導補助員配置事業	3人	1人	1,030	
	2事業	12人	4人	4,731	

奨学金徴収業務の債権回収会社（サービサー）への委託について

平成21年9月16日
人権教育課

奨学金徴収強化対策として、未納者が県外に在住する場合や法的措置を講じても返還に結びつかない困難事案に係る徴収業務について、試験的に債権回収を専門とする債権回収会社（サービサー）へ委託した。

1 業務委託の背景等

- 近年、徴収体制強化等に取り組んでいるものの、返還未済額は年々増加している。
(平成21年7月末現在未納額 約337百万円 約1,800件)
- 返還資力があるにもかかわらず返還に応じない未納者に対しては、法的措置を念頭に置きながら厳正に徴収業務に取り組んでいるが、訪問等が困難な県外在住者や法的措置（支払督促申立）を行っても返還に結びつかない困難な事案もある。

【法的措置の状況】

(単位：件)

申立年度	状況 支払督促 申立件数	支払督促申立後の状況					うちH20 強制執行
		係争中	和解	判決	仮宣	取下げ	
平成17年度	1		1				
平成18年度	37		10		22	5	1
平成19年度	25		10	2	11	2	
平成20年度	29		14		12	3	1
平成21年度	1	1					
累計	93	1	35	2	45	10	2

- (注) 1 仮宣(仮執行宣言付支払督促)は支払督促申立に対し異議申立がなされなかったもの
2 取下げは、支払督促不達(住民票の住所に住んでいない等)等によるもの
3 平成20年度に初めて強制執行2件実施(給与差押、預金差押各1件)

2 業務委託の内容

(1) 委託先業者名

東京都中央区勝どき1丁目7-3
中央債権回収株式会社

(2) 契約期間

平成21年8月14日から平成22年3月19日まで

(3) 契約金額

2,232,434円(上限額)

内訳

成功報酬	1,932,434円(委託債権 8,560,067円×21.5%+消費税)
出張旅費等	200,000円(上限額)
事務費	100,000円(上限額)

※ 成功報酬は実際の回収額の21.5%で、旅費、事務費は実費

(4) 契約方法

一般競争入札(2社から応札があり、上記の業者が落札)

(5) 委託債権

区分	件数	委託債権額
法的措置(仮宣)	7件	2,489,111円
県外在住の未納者	23件	6,070,956円
計	30件	8,560,067円

3 今後の対応

今回は試験的に債権回収会社への徴収業務の委託を行うものであり、効果を検証し、有効であることが確認できれば、来年度以降の業務委託の拡充を検討する。

企画展「挑戦！ 頭脳パズルボックス」及び美術企画展示
「山を描いた画家 伊谷賢蔵」の開催について

平成21年9月16日
博 物 館

1 企画展「挑戦！ 頭脳パズルボックス」について

(1) 概要

抽象的で難しいというイメージの「数学」について、子どもから大人まで楽しく学べるよう、約20種類のおもしろい体験型展示物を使って紹介します。

(2) 会期

10月10日(土)～11月8日(日)(休館日なし)

(3) 関連事業

○講演会「21世紀を羽ばたくための学習法」

期日：10月18日(日) 14:00～15:30

場所：鳥取県立博物館 講堂(無料)

講師：ピーター・フランクフル氏

○体験コーナー「算数の宝箱」

・鳥取大学地域学部数学教育学研究室の企画による算数を楽しく体験するコーナー

期日：会期中随時

場所：第1特別展示室内(要入場料)

2 美術企画展示「山を描いた画家 伊谷賢蔵」について

(1) 概要

洋画家・伊谷賢蔵(1902～1970)は、鳥取市に生まれ、京都を中心に活躍し、戦後の美術界に大きな足跡を残した人物です。本展では、従軍画家時代に描いた風景画と、後年に日本の山を描いた作品を共に展示することにより、伊谷が長年にわたって山というテーマに取り組み、深めていったさまを紹介します。

(2) 会期

10月4日(日)～11月10日(火)

(休館日：10月5日(月)、11月9日(月))

(3) 展示点数(予定)

油彩 約20点、水彩・素描 約40点

(4) 関連事業

○ギャラリートーク 期日：10月17日(土) 14:00～

場所：近代美術展示室(要入場料)

講師：担当学芸員

美術品の購入について

平成21年9月16日
博 物 館

鳥取県美術品取得基金を活用して以下の美術資料(19点)を購入する予定である。

〔購入予定作品〕

NO	分野	作家名	作品名	制作年(和暦)	材質技法等	員数	作品寸法 (cm)	購入予定価 格(税込千 円)	
1	現代 日本画	はまだ たいじ 濱田 台兒 (1916~)	はなしょうぶ 花菖蒲	2000(平成12)年	紙本着色 額装	一面	222.0×182.0	6,000	
2	現代 写真	うえだ しょうじ 植田 正治 (1913~2000)	不詳(幟)	1931年撮影/1980年 代プリント	ゼラチン・シル バー・プリント (モダン・プリン ト)	1点	29.5×21.5	945	
3			茶谷老人とその娘	1940年撮影/1980年 代プリント	ゼラチン・シル バー・プリント (複写プリント)	1点	16.8×31.1	315	
4			カコ	1949年撮影/1980年 代プリント	ゼラチン・シル バー・プリント (モダン・プリン ト)	1点	26.6×24.0	1,260	
5			カコとミミの世界			1点	29.1×34.1	1,260	
6			パパとママとコドモたち			1点	22.8×30.0	1,470	
7			不詳(土門拳と石津良介)			1点	28.0×22.8	1,260	
8			ボクのわたしのお母さん			1950年撮影/1992年 プリント	1点	37.8×58.0	1,575
9			不詳(砂丘人物)			1950年頃撮影/1980 年代プリント	ゼラチン・シル バー・プリント (モダン・プリン ト)	1点	28.0×25.2
10			不詳(砂丘人物)	1点	28.0×25.2			1,260	
11			砂丘ヌード	1951年撮影/1980年 代プリント	ゼラチン・シル バー・プリント (モダン・プリン ト)	1点	28.0×22.0	1,260	
12			童暦(わらべごよみ)より 「三輪車」	1955-70年撮影 /1980年代プリント		1点	30.0×21.2	1,260	
13			童暦より「牛市からの帰り」			1点	30.6×21.8	1,260	
14			童暦より「雪国の子」			1点	21.9×31.4	1,260	
15			童暦より「雪国」			1点	21.8×31.4	1,260	
16			白い道			1点	21.6×31.7	1,365	
17			案山子		1950年撮影/1980年 代プリント	ゼラチン・シル バー・プリント (モダン・プリン ト)額装	1点	18.9×17.2	300
18			シリーズ「童暦」より(少年)	1955-70年撮影 /1980年代プリント	1点		29.1×19.1	600	
19			シリーズ「童暦」より(ヒトデ)		1点		31.9×19.7	600	
							計	25,770	

1



濱田台兒 《花菖蒲》

6



植田正治 《パパとママと子どもたち》

7



植田正治 《題名不詳（土門拳と石津良介）》

8



植田正治 《ボクのわたしのお母さん》

16



植田正治 《白い道》

17



植田正治 《案山子》

平成21年度全国高等学校総合体育大会について

平成21年9月16日
体 育 保 健 課

1. 期 間 平成21年7月28日～8月20日（駅伝・スキー等種目は別日程）
2. 開 催 地 奈良県（近畿2府6県） ※定通大会（東京都・神奈川県）
3. 選 手 団 30競技にわたり、選手548名・監督・引率129名・計677名が参加
4. 入賞状況 個人で5種目、団体で7種目

区分	競 技	種 目	学校名・氏名	成績
個人	陸上競技	男子ハンマー投	倉吉北・柏村亮太(3)	優勝
	アーチェリー	女子個人	米子南・松本ゆりあ(3)	3位
	フェンシング	男子個人サーブル	鳥取工業・田中宏和(3)	5位
	定通制・ バドミントン	女子個人	米子白鳳・山下可奈(3)	5位
	ボート	男子シングルスカル	米子工業・池口 開(2)	6位
団体	アーチェリー	女子団体	米子南	優勝
	サッカー	男子団体	米子北	準優勝
	弓 道	女子団体	鳥取西	3位
	新体操	女子団体	鳥取西	5位
	相 撲	男子団体	鳥取城北	5位
	定通制・ バレーボール	女子団体	鳥取緑風	5位
	カヌー	女子スプリントカヤック4	倉吉総合	8位

参考（入賞種目数 年次比較）

種	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
開催地	高知	宮城	静岡	宮崎	栃木	富山	鳥取	山梨	京都	四国	岩手	岐阜	熊本	茨城	長崎	中国	千葉	近畿	佐賀
個人	5	6	7	13	9	8	9	9	7	11	6	9	12	10	5	5	7	12	11
団体	3	6	3	6	2	3	10	4	3	2	1	3	3	3	4	4	2	2	4
年度	20		21																
開催地	埼玉	神奈川	奈良	神奈川															
個人	11	1	4	1															
団体	5	—	6	1															